

優先的に取り組む分野 『地域情報の発信力の強化』

地域施設(コピオ長房など)を活用して長房の地域情報を発信する

団体・活動を紹介するパネルの展示、対面での案内による発信

進め方

地域情報を発信ができる施設とそれぞれの利用情報(費用・掲示・配布ルール等)の一覧を作成する
 地域情報の発信元(活動団体等)の情報を整理する
 地域内のさまざまな取組を定期的に発信する
 ・地域のカラーを決めてチラシ等の色を統一する等、目につくデザインで

発信内容

活動団体等の活動報告
 ・イベント等の募集情報
 ・イベント等の結果報告
 ・記録映像の上映や画像の展示
 映え情報(桜の名所など)
 地域のお店の割引クーポン等、お得な情報

ターゲット/対象

地域内の住民
 ・子ども
 ・親子
 ・高齢者、等

 ターゲットを設定する必要がある

運営団体/支援団体/協力者

運営団体

 支援団体

 協力者
 中学生・高校生・大学生(ボランティア部等)
 児童館
 ボーイスカウト
 青少対
 富士森高校
 青少年育成団体

どこで/いつ/頻度

商業施設 個人商店も
 ・コピオ長房(情報発信スペース等)
 ・コンビニ
 ・スーパー(コープ・アルプス・カインズホーム等)
 ・移動スーパー
 ・飲食店(居酒屋等) 喫茶店が少ない
 医療施設、薬局等 主に高齢者向け
 公共施設
 ・市民センター
 ・長房ふれあい館
 ・シルバー見守り相談室
 ・教育施設(学校・児童館・保育園・幼稚園等)
 その他
 ・町内会の掲示板
 ・団地の集会所・エレベーター脇
 ・お寺

 ターゲットに応じて情報発信する場所を検討

情報発信を多世代で連携して行う

開始時期/スケジュール

必要な物資・資材など

QRコード、デジタルサイネージの活用

SNS(Twitter、Instagram、Facebook等)を活用して長房の地域情報を発信する

進め方

- SNS拠点をつくる(組織)
 - ・地域でSNSを運用する組織をつくる
 - ・そこで情報収集、情報拡散を行う
 - ・組織での打ち合わせがある際には実際に集まれる拠点を整備
 - ・誰がいつSNSを投稿するかなどスケジュールリングし役割分担を行う

- 地域のアカウントをつくる(アカウントのシェア)
 - ・1つのアカウントをシェアして、複数人で地域アカウントを運用

- ハッシュタグを決める
 - ・長房のハッシュタグを決める
 - ・ハッシュタグやアカウント名は回覧版などで周知
 - ・地域住民の視点で良い場所や地域の情報が集まる

- SNSと紙媒体の連携
 - ・SNSで地域情報を発信するイメージがあまりないため、すぐには届きにくい可能性がある
 - ・「長房でSNSをやっている」というイメージをつけるため、回覧板や団体のチラシでSNSについて周知
 - ・回覧板や団体のチラシにSNSの使い方や使用方法を記載

- 楽しいSNSをつくる
 - ・SNSは、楽しいことをメインに発信する媒体のため、アカウント名も面白くする(例)ながふさんぽなど
 - ・SNSの名前やアイコンは子どもや地域の人から募集する(愛着が沸く)
 - ・まずは地域イベントの発信で進めてみてはどうか
 - ・インスタグラムで、「撮りに行きたい」と思わせる写真やイメージなどを発信することが大切

発信内容	ターゲット/対象
<ul style="list-style-type: none"> ○カテゴリをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・カルテの情報からカテゴリを精査 ・地域のスポーツ活動、習いごと活動 ・イベント、防犯、回覧板情報 学校行事 <ul style="list-style-type: none"> ・船田小の展覧会 ・地域と学運協の連携など 	<ul style="list-style-type: none"> ○長房地域の住民 <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板にたどり着けない人 ・まずは地域の住民から周知 若者
運営団体/支援団体/協力者	どこで/いつ/頻度
<ul style="list-style-type: none"> 運営団体 支援団体 協力者 <ul style="list-style-type: none"> 若者 <ul style="list-style-type: none"> ・若者がSNSに使い慣れていない世代に使い方を教えることで多世代交流を図る ・学校のカリキュラムに地域の情報発信や地域とつながる内容を組み込む(夏休みなどに実施してもよい) ・無理やり感なく若者を巻き込むことが大事 ・情報発信できる人の底上げが必要 情報発信のプロ ・地域で担うのが難しければ出来る人に頼る(雇う) 	<ul style="list-style-type: none"> ○SNS <ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラム...多世代にリーチ ・LINE@...閉ざされたSNSなので個人情報拡散の心配が少なく、地域情報を発信できる ・TIKTOK...10代にリーチ 内容によって頻度は変わる <ul style="list-style-type: none"> ・防犯情報...情報が出る度 ・イベント情報...週1 ・回覧板情報...月1
開始時期/スケジュール	必要な物資・資材など
<ul style="list-style-type: none"> スケジュール作り <ul style="list-style-type: none"> ・誰が、いつ投稿するかなど、スケジュールを作成することで継続的なSNS運用につながる 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・対面で集合、打ち合わせできる場所があると運用がスムーズにできる ・地域団体の施設などを借用できるとよい

地域イベント・行事で長房の地域情報を発信する

進め方

- 長房地域のイベントと行事の一覧を作成する
- イベント・行事の活動を共有する
(各イベント、行事の運営側に様々な団体や個人が重複している)
- 地域情報を発信するポスター・チラシ(紙媒体)を制作する
 - ・ポスター制作は得意な人にサポートしてもらう
- 既存のイベント・行事の集客力を高める
 - ・お店を出す、プレゼントする、めずらしいモノを紹介する、目玉をつくる
 - ・若者視点でアップデートする(楽しみながらイベント等の運営を担う)
- 既存のイベント・行事を次の世代に教えつないでいく それ自体が交流になる
 - ・安心・安全に気をつけた運営ができるようにする(先輩の経験や知恵を伝える)

発信内容

- 長房地域のイベント・行事の情報
 - お店の情報、長房のおススメ情報
- 文字情報より、ポイントをしばった売りことば、イラスト、写真、特点などを中心に構成する

ターゲット/対象

- 長房地区の情報の届いてない人
(町会に所属していない人)
 - 長房地域の子ども
 - 長房地域の高齢者
- 地域を越えた活動にしていく必要がある

運営団体/支援団体/協力者

- 運営団体
- 支援団体
- 協力者
- 盆踊りなど踊りのグループ(地域に多い、夏まつりなどで活躍、盆踊りの師匠が3人いる)
 - 大学生
 - 中高生(大学生が紹介 運営メンバーになる)
 - ・共立女子中学校・高校との連携
 - ・ブラスバンド部
 - ポスター制作などが得意な人

どこで/いつ/頻度

- 長房地域内のイベント・行事
検討したイベント一覧は「別紙」参照
- ターゲットに応じて情報発信する場所を検討

開始時期/スケジュール

必要な物資・資材など

- 都などの補助を活用

地域イベント・行事で長房の地域情報を発信する

地域イベント・行事の一覧

どこで/いつ/頻度	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・初もうで・どんど焼き ▶ 長房の町会・自治会(中郷町会・原宿町会など) ・もちつき大会 ▶ 川があるエリアで行われる
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・豆まき・卓球大会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなまつり ▶ 置く場所がないけど見てほしい雛人形が集まる ・グランドゴルフ大会 ▶ 70名くらいが参加年2・3回 / 若かったで賞がある
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・お花見 ▶ 並木の提灯をつける作業がある
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・端午まつり ▶ 4月頃からこいのぼり
2・9月	<ul style="list-style-type: none"> ・長房ふれあいウォーク(年2回)
7・8月	<ul style="list-style-type: none"> ・納涼祭
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン大会 ・高齢者の昼食交流会(民生委主導)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・あるけあるけ大会 ▶ 50名くらいが参加 / 10km歩く ・第3土日いちょうまつり
	<ul style="list-style-type: none"> ・(今年から)不用品交換会(自治会合同) ・(例えば端午まつり)カラオケ、踊り、第ビンゴ大会など参加の入り口が実はたくさんある